

# 化学物質対策の取り組み状況 と今後の課題

平成17年9月14日  
厚生労働省医薬食品局  
審査管理課化学物質安全対策室

# 化学物質安全対策室の主な取組

毒物及び劇物取締法

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律

既存化学物質の安全点検の実施

化学物質のリスク評価、管理に関する国際協調

化学物質のリスク評価法等に関する調査・研究の実施

# 毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物(人体に急性的な危害を及ぼす化学物質のうち、政令で指定されたもの)について、保健衛生上の見地から必要な取り締まりを行うことを目的とする。

毒物 1 0 1 種類、劇物 3 5 3 種類

毒物、劇物への表示

毒劇物の性状及び取扱いに関する情報の提供

製造業、輸入業、販売業の登録

毒物劇物取扱い責任者の設置等の基準

表示及びMSDS(安全データシート)に関するGHS(化学品の分類と表示に関する世界調和システム)への対応

# 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

難分解性の性状を有し、かつ、人の健康を損なうおそれ又は動植物の生息若しくは生息に支障を及ぼす恐れがある化学物質による環境汚染を防止するために、新規化学物質の事前審査制度を設けるとともに、その有する性状に応じ、製造、輸入、使用などについて必要な規制を行う。

第一種特定化学物質：難分解性、高蓄積性、人への長期毒性・高次補食動物への毒性  
製造・輸入の制限、特定用途以外の使用禁止等 15物質

第二種特定化学物質：難分解性、人への長期毒性・生活環境動植物への長期毒性、  
被害のおそれのある環境残留  
製造・輸入量等の届出、技術上の指針、表示義務等 23物質

第一種監視化学物質：難分解、高蓄積性

第二種監視化学物質：難分解性、人への長期毒性の疑い

第三種監視化学物質：難分解性、動植物への毒性

製造・輸入実績数量等届け出、指導・助言等

# **有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律**

**有害物質を含有する家庭用品について保健衛生上の見地から必要な規制を行うことにより、国民の健康の保護に資する。**

**有害物質及びそれぞれの家庭用品中含量等の規制基準を設定**

**現在20物質を有害物質として指定**

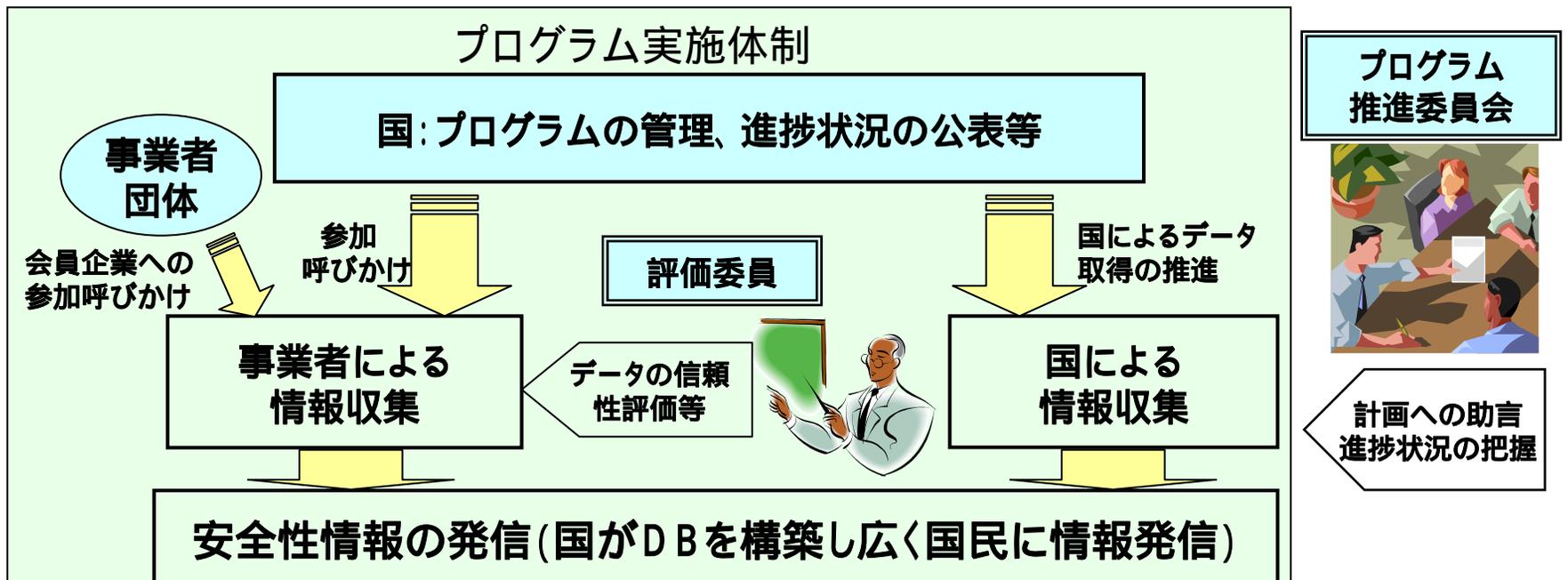
**基準逸脱家庭用品の販売・譲渡・陳列の禁止**

**製造・輸入業者等による製品に含有される物質の健康影響の把握と適切な措置**

# 既存化学物質の安全点検の実施

## 官民連携既存化学物質安全性情報収集・発信プログラム (Japan チャレンジプログラム)

厚生労働省、経済産業省及び環境省の3省と産業界の連携による、既存化学物質の安全性情報の収集の加速化と国民への情報発信



# 化学物質のリスク評価、管理に関する国際協調

## OECD（経済協力開発機構）

高生産量既存化学物質の安全性点検等への対応  
新規化学物質の規制に関する知見の共有  
毒性試験法の共通化 等

## IFCS（化学物質の安全性に関する政府間フォーラム）

常設委員会への参加  
関係省庁によるナショナル・プロファイルの策定 等

# 化学物質のリスク評価法等に関する調査研究

(具体例)

## 有害性評価法の高度化に関する研究

QSAR、カテゴリーアプローチ、トキシコゲノミクス等

安全性点検の効率化・動物愛護・費用の軽減

## 内分泌かく乱化学物質

人への健康影響の観点から、内分泌かく乱作用を  
確認するための詳細試験法の開発等の調査研究を実施

内分泌かく乱化学物質の健康影響に関する検討会

「検討会中間報告書追補その2」(平成17年3月)

# 今後の課題

既存化学物質の安全点検の加速化

暴露情報も加味したリスク評価・管理

OECD やWHO・IPCS等の活動への  
協力、貢献